

令和6年度 公開講座・講演会等の実施状況

(令和6年4月～令和7年3月実施分)

NO	部局名	事業名	延べ開催回数 (日数)	開催日	場所	主催・共催・後援など	事業内容(概要)	講師	対象者
1	人文社会科学部 jm3187@hirosaki-u.ac.jp	地域未来創生塾@中央公民館	5回	①令和6年10月2日 ②令和6年10月16日 ③令和6年10月30日 ④令和6年11月13日 ⑤令和6年11月27日	弘前文化センター 第6会議室/多目的研修室/オンライン	【主催】 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター 【共催】 弘前市教育委員会(中央公民館) 【後援】 弘前市、東奥日報社、陸奥新報社	本事業は、「持続的で豊かな地域創造」をテーマに全5回の講座を開催した。具体的には、人口減少にともなう様々な地域課題の対策や地域文化資源の有効利用策を模索するために、弘前大学人文社会科学部の教員が、ワークショップ形式で学びを深めた。	①弘前大学人文社会科学部 教授 李 永俊 ②弘前大学人文社会科学部 准教授 古村 健太郎 ③弘前大学人文社会科学部 准教授 内藤 周子 ④弘前大学人文社会科学部 助教 劉 青 ⑤弘前大学人文社会科学部 准教授 澤 真一	弘前大学生、教職員、弘前市および近隣にお住まいの市民一般、高校生
2	人文社会科学部 jm3187@hirosaki-u.ac.jp	国際公開講座2024「(現在)を考えるための人文学」	1回	令和6年11月3日	弘前大学 創立50周年記念会館2階 岩木ホール	【主催】 弘前大学人文社会科学部 【共催】 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター	人文学の「今」―日本や世界の文化・歴史に関する最新の研究成果―をわかりやすく伝えた。弘前大学の3名の教員が、日本と世界に生きる人々の多様な営みについて、最新の研究成果に基づき、地域の皆さんに分かりやすく紹介した。	①弘前大学人文社会科学部 助教 古川 祐貴 ②弘前大学人文社会科学部 准教授 亀谷 学 ③弘前大学人文社会科学部 教授 原 克昭	弘前大学生、教職員、市民一般、学生
3	人文社会科学部 jm3187@hirosaki-u.ac.jp	青森家庭少年問題研究会 2024年度 第1回学習会「研究会の20年のあゆみと子どもを巡る課題」	1回	令和6年7月20日	弘前大学 人文社会科学部棟4階 多目的ホール	【主催】 青森家庭少年問題研究会 【共催】 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター	青森家庭少年問題研究会は設立から20年を迎え、この機会に20年間の子どもを巡る問題を振り返り、来場者のみなさんと今後の課題について考えた。	①関東学院大学 法学部 村田 輝夫 ②弘前大学 名誉教授 宮崎 秀一 ③青森明の星短期大学 最上 和幸	弘前大学生、教職員、市民一般、学生
4	人文社会科学部 jm3187@hirosaki-u.ac.jp	東北6県合同研究フォーラム「撮ること・残すこと・活かすこと―民俗と映像記録―」	1回	令和6年11月16日	弘前大学 人文社会科学部棟4階 多目的ホール	【主催】 青森県民俗の会、弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター 【後援】 青森県教育委員会 弘前市教育委員会 東奥日報 陸奥新報	ホームビデオからスマホへ、映像を撮影する機器が変わることで、記録できる範囲が広がることも、撮る側と撮られる側の関係性も変わり、新たな撮影論理の問題も浮上している。最新機種の利便性をどのように活かし、また過去の映像をどのように活用するのか、東北6県の民俗学研究会の関係者が集まり、現在の実践と今後の可能性について話し合った。	青森県民俗の会 代表 古川 実 青森県民俗の会 山田 殿子 青森県民俗の会 栗山 茂 青森県民俗の会 村中 健大 東北民俗の会 今井 雅之 福島県民俗学会 豊田 靖 山形県民俗研究協議会 阿部 宇洋 秋田県民俗学会 小田 島清朗 青森県民俗の会 下田 雄次 岩手民俗の会 阿部 武司 弘前大学地域未来創生センター 副センター長 原 克昭	弘前大学生、教職員、東北6県の民俗学関係者、行政関係者、市民一般、学生
5	人文社会科学部 jm3187@hirosaki-u.ac.jp	公開シンポジウム 地域へのめざめ「弘前×フランス」で育む副言語・複文化	1回	令和6年11月22日	弘前市民文化交流館 ホール(ヒロロ4階)	【主催】 科研20K03090シンポジウム開催実行委員会 【後援】 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター	科学研究費助成事業 20K03090「〈地域への目覚め〉を介した日本型複言語・複文化教育モデルと複文化教育交流実験検証」(研究代表:熊野真規子)の一環として開催した。本研究課題を含むプロジェクトの10年を振り返り、これからの「学び」の可能性を探った。交流実験参加経験のある学生(弘前大学、慶應義塾大学、近畿大学、神戸大)・OBも会場参加した。	コーディネーター: 近畿大学 法学部 高橋 梓(弘前大学文学部OB) 登壇者: 熊野 真規子 園枝 孝弘 松井 真之介 安藤 博文 MOUTON Ghislain	弘前大学生、教職員、市民一般、学生など関心のある方
6	人文社会科学部 jm3187@hirosaki-u.ac.jp	2024年度地域未来センターフォーラム 「ライフドキュメントの継承へ」―国立療養所の歴史化に際して	1回	令和6年11月9日	弘前大学 人文社会科学部棟4階 多目的ホール	【主催】 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター	ハンセン病の回復者の方がたが暮らす全国13か所の国立療養所では、入所者数の減少と入所者の超高齢化時代を迎えている。青森市石江にある松丘保養園(1909年創立)もそのひとつである。日本のハンセン病政策の問題とともに、歴史的な時間のなかで、この松丘保養園のなかでの生活がどのように営まれてきたのか、その生活の歴史をどのように継承すべきなのか。 わたしたちは、ある人や人びとの生活の記憶を想起させるモノの総称として「ライフドキュメント」を定義している。さまざまなライフドキュメントをもとに、松丘保養園の生活の歴史、そこに暮らした人びとの記憶と接すること、通常の「歴史」の教科書では書かれていない、そのような生活の記憶からの歴史との接し方の意義を、このフォーラムでは話し合った。	弘前大学 白石 壮一郎 姫路独協大学 岩谷 洋文 東京芸術大学 木村 直 国立療養所松丘保養園 社会交流会館 澤田 大介 四天王寺大学 田原 範子 風土形成事務所／東京大学 廣瀬 俊介	弘前大学生、教職員、市民一般、学生
7	人文社会科学部 jm3187@hirosaki-u.ac.jp	消費者フォーラム in HIROSAKI	1回	令和7年1月25日	弘前大学 創立50周年記念会館 みちのくホール オンライン/アーカイブ	【主催】 弘前大学人文社会科学部 弘前大学教育学部 青森県消費者協会 【後援】 青森県教育委員会 弘前市教育委員会 黒石市教育委員会 平川市教育委員会 西目屋村教育委員会 藤崎町教育委員会 大舘町教育委員会 田舎館村教育委員会 【協力】 青森中央学院大学 青森県立弘前中央高等学校 青森県立弘前高等学校 青森県消費者問題研究会	本フォーラムは、地域連携の実践の場として消費者教育の推進に寄与することを目的として開催した。 今年度は、誰もが取り残されない地域づくりに向けた、みらいわっと弘前の取り組みについての基調講演、大学生のサポートによる中高生の「消費者市民社会に実現に向けた探究学習」の発表などを行った。	白神自然学校―ツツ森校 永井 雄人	弘前大学生、教職員、市民一般、学生
8	人文社会科学部 jm3187@hirosaki-u.ac.jp	シンポジウム「青森県の裁判員裁判―これまでの15年間を振り返る」	1回	令和6年11月16日	弘前大学 創立50周年記念会館2階 岩木ホール/オンライン	【主催】 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター	裁判員裁判は「おおむね安定的かつ順調に運営されている」のか。市民の視点から、裁判員裁判の成果と課題を検証し、次の5年に向けて、どのように改善していくべきかを議論した。	弘前大学 平野 潔 専修大学 飯 孝行 宇都宮地方裁判所 古玉 正紀 東京地方裁判所 寺尾 亮 青森地方裁判所 小澤 光	弘前大学生、教職員、市民一般、学生

令和6年度 公開講座・講演会等の実施状況

(令和6年4月～令和7年3月実施分)

NO	部局名	事業名	延べ開催回数 (回数)	開催日	場所	主催・共催・後援など	事業内容(概要)	講師	対象者
9	人文社会科学部 jm3187@hirosaki-u.ac.jp	弘前大学観光マイスター(社会人)プログラム(履修証明プログラム)	75回	-	-	【主催】 弘前大学人文社会科学部	観光業に関する様々な事項を体系的に学習させることにより、本県の観光産業を活性化させる人材の育成を目的としているプログラム。 履修期間は1年間(希望により2年間も可能)で、全157.5時間のうち112.5時間以上の講義受講と学習報告書の提出を修了要件としている。 令和6年度は第2期生が2名履修し、うち1名の修了が予定されている。	弘前大学人文社会科学部 教授 森 樹男 弘前大学人文社会科学部 准教授 熊田 憲 弘前大学人文社会科学部 准教授 高島 克史 株式会社インアウトパウンド仙台・松島代表取締役 西谷 富佐(非常勤講師)	観光業に興味・関心のある社会人の方や、観光業などに従事する社会人の方
10	人文社会科学部 jm3187@hirosaki-u.ac.jp	令和6年度三大学シンポジウム「地域研究の知はどのように地域とつながるか:課題と可能性」	1回	令和7年1月30日	弘前大学 人文社会科学部棟4階 多目的ホール/ オンライン	【主催】 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター	人文社会科学系の学問は、地域の豊かな文化資源を拾い上げ、地域に生きる人々と課題を解決していくことが期待されている。これまでも個々の研究者の研究活動、あるいはアウトリーチを通じて人文社会科学は地域と十分なかかわりを持ってきたといえる。他方で、研究によって生み出された成果がどのような長期的インパクトをもちうるのかは必ずしも明確化されていない。本シンポジウムでは、弘前大学、三重大学、島根大学が地域に根ざして展開してきた研究・実践の事例を共有し、研究の地域活用にかかわる課題と可能性を議論することをわらわした。	弘前大学人文社会科学部 教授 李 永俊 三重大学文学部 教授 深井 英喜 島根大学法文学部 教授 関 耕平	弘前大学生、教職員、市民一般、学生、行政関係者、関係者
11	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	大学の数学	2回	①令和7年3月22日 ②令和7年3月29日	①ユートリー5階視聴覚室 ②弘前大学教育学部1階大教室	【主催】 弘前大学教育学部数学教育講座	弘前大学教育学部数学教育講座教員による、数学好き高校生のための大学数学の講義	弘前大学教育学部 講師 吉川 和宏 弘前大学教育学部 准教授 山本 稔	高校生 (青森、秋田、岩手、道南)
12	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	教員を目指す高校生のためのセミナー	3回	①令和7年3月9日 ②令和7年3月15日 ③令和7年3月16日	①弘前大学教育学部1階大教室 ②青森県観光物産館アスパム 5階あすなろ ③八戸ユートリー8階 多目的中ホール	【主催】 弘前大学教育学部入試広報委員会	高校2年生を対象として、大学教員による講義・演習、現役教員による講話とおとし、教員・教職についての理解を深める機会とする。	①弘前大学教育学部 准教授 池田 泰弘 藤崎町立藤崎中央小学校 教諭 田中 宏輝 弘前大学教育学部 教育学部長 高瀬 雅弘 ②弘前大学教育学部 准教授 田中 浩紀 青森市立浪館小学校 教諭 鹿角 利和 弘前大学教育学部 教授 高瀬 雅弘 ③弘前大学教育学部 准教授 原 郁水 八戸市立多賀台小学校 教諭 久保田 遥 弘前大学教育学部 教授 高瀬 雅弘	高校2年生 (青森、秋田)
13	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	高校生のためのデッサン教室	1回	令和7年3月23日	弘前大学教育学部4階 美術制作室	【主催】 弘前大学教育学部美術教育講座	弘前大学教育学部美術教育講座教員による、高校生のためのデッサン教室 モデルを見ながら人物デッサンを行い、事後に講評する	弘前大学教育学部 教授 塚本 悦雄 弘前大学教育学部 准教授 佐藤 光弘 弘前大学教育学部 准教授 出 佳奈子	高校生 (青森、秋田、岩手、道南)
14	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	教員研修講座「声でいざなう日本伝統音楽:華麗なる能の世界へ」	5回	①令和6年12月15日 ②令和7年1月24日 ③令和7年2月15日 ④令和7年3月14日 ⑤令和7年3月15日	弘前大学教育学部音楽ホール	【主催】 弘前大学教育学部	学校教育の音楽科における邦楽の重要性は、最新(平成29年度)の指導要領にも明記されるとおりであるが、楽器の維持管理と教員自身の専門知識・技能の習得に困難があり、大いに進んでいるとはいえない。そこで、旨の教材化を提案する。謡はアマチュア愛好家向けに制度を整えてきた側面があり、面はもちろん、所作や舞台装置、囃子(楽器)を必ずしも必要としない。鑑賞するだけでなく、授業の中で自分の息だけを使っ演じることが可能である。なお、能の教材化はすでに能楽協会や各教員養成大学・学部によって進められつつあり、学校教育向けの研修会が都府県を中心に各地で開催されている。しかし青森県から講習会に出席するためには、移動や宿泊などの制約がある。本講座は研修機会を増やすという地域貢献を行いながら、参加者より本県ないし北東北の音楽科教育における現状を収集し、今後は更に地域の実情に合わせて研究会の継続を図る。	観世流能楽師 篠崎 珠樹 弘前大学教育学部音楽学研究室 朝山 奈津子	学校教員、教育関係者、能や伝統音楽に興味のある市民一般・学生
15	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	令和6年度弘前大学免許法認定講習	8回	①令和6年7月15日～16日 ②令和6年7月27日～28日 ③令和6年8月1日～2日 ④令和6年8月19日～20日 ⑤令和6年8月22日～23日 ⑥令和6年12月21日～22日 ⑦令和6年12月26日～27日 ⑧令和7年1月11日～12日	弘前大学	【主催】 弘前大学教育学部	小学校外国語教科化に対応した専門性向上のため、免許法認定講習を実施。	弘前大学教育学部 教授 中野 博之 弘前大学教育学部 准教授 田中 拓郎 弘前大学教育学部 准教授 佐藤 崇之 弘前大学教育学部 准教授 池田 泰弘 弘前大学教育学部 准教授 佐藤 絵里子 弘前大学教育学部 教授 野呂 徳治 弘前大学教育学部 准教授 佐藤 剛 弘前大学教育学部 助教 新川 広樹 弘前大学教育学部 講師 中山 志政	小学校教諭普通免許状取得後、小学校(特別支援学校)を含む)における教諭又は講師(ただし非常勤の講師を除く)として3年以上の実務経験を有し、中学校教諭二種免許状(外国語(英語))を取得しようとする者
16	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	令和6年度弘前大学免許法認定講習	7回	①令和6年8月3日～10月12日 ②令和6年8月4日～10月13日 ③令和6年8月9日～8月10日 ④令和6年8月14日～9月15日 ⑤令和6年12月25日～12月26日 ⑥令和7年2月15日～2月16日 ⑦令和7年3月1日～3月2日	弘前大学 (青森県弘前市文京町1)	【主催】 弘前大学教育学部	免許教科外教科担任となっている教員への研修の充実及び中学校教諭二種免許状(技術)を取得する機会の拡大のため、免許法認定講習を実施。	弘前大学教育学部教授 上之園 哲也 弘前大学教育学部教授 勝川 健三 弘前大学教育学部教授 櫻田 安志 弘前大学教育学部准教授 廣瀬 幸	中学校教諭普通免許状を有しており、中学校教諭二種免許状(技術)を取得しようとする国・公・私立学校の教諭又は講師

令和6年度 公開講座・講演会等の実施状況

(令和6年4月～令和7年3月実施分)

NO	部局名	事業名	延べ開催回数 (日数)	開催日	場所	主催・共催・後援など	事業内容(概要)	講師	対象者
17	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	弘前大学教育学部附属四校園公開研究会	1回	令和6年11月16日	附属小学校・附属中学校 対面とライブ配信、テレビ会議によるハイブリッド型	【主催】 弘前大学教育学部附属中学校、小学校、特別支援学校、幼稚園	「自ら考え 自律的に行動する子の育成」を全体研究テーマとした合同公開研究会を開催した。今年度も対面とライブ配信、によるハイブリッド型で実施。今年度は3回目となり、社会、外国語活動・英語、体育・保健体育の各教科の公開授業や研究協議会を行った。 また、元武蔵大学人文学部教授で一般社団法人ジェイス代表理事 武田 信子 先生を講師に招き、「子の学びを邪魔する育て方・しない育て方」をテーマとした講演会を実施。	元武蔵大学人文学部 教授/一般社団法人ジェイス代表理事 武田 信子	教育関係者など
18	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	大学の先生と一緒にピアノと音楽を学びたい高校生のための企画	3回	①令和6年5月9日 ②令和6年6月6日 ③令和6年7月4日	弘前大学教育学部	【主催】 弘前大学教育学部音楽教育講座	教育学部音楽教育講座ピアノ研究室では、高校2、3年生を対象とした「大学の先生と一緒にピアノと音楽を学びたい高校生のための企画」を開催します。 「楽譜を読み込みたい」「姿勢や指、身体の使い方が合理的なのか分からない」「レッスン以外での効果的な練習方法が知りたい」などの課題について、作品の解釈と表現の連続を一緒に試したり、演奏科学等の研究知見も織り交ぜたりした40分/回の個人レッスンで解消を目指し、一緒にピアノと音楽を学びましょう！ピアノや音楽が好きな高校2、3年生の皆さんの参加をお待ちしています。	弘前大学教育学部 助教 小田 直弥	高校生・2・3年生
19	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	ひろさきで学ぶ 芸術歌曲の技と心 2024	1回	令和6年8月10日	旧弘前銀行社	【主催】 弘前大学教育学部音楽教育講座	弘前大学教育学部音楽研究室・ピアノ研究室が主催し、音楽に関するお話と演奏会、公開レッスンをを行います。講師は、本学教員である杉原かおり(教授、ソプラノ/リリコ)と小田直弥(助教、ピアノ)の他、石崎秀和氏(東京学芸大学准教授、バリトン)と森田学氏(昭和音楽大学准教授、バス)をお招きします。歌唱における「技」と「心」に触れていただけますと幸いです。どなたでもご来場いただくことができます。	弘前大学教育学部 教授 杉原 かおり 弘前大学教育学部 助教 小田 直弥 東京学芸大学 准教授 石崎 秀和 昭和音楽大学 准教授 森田 学	弘前地域在住・在学・在勤者
20	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	履修証明プログラム「はじめての音楽実技」	中止	令和6年4月～3月	中止	【主催】 弘前大学教育学部	テレビやYouTube等を通して視聴する音楽、ショッピングモールに流れるBGMなど、私たちが日常的に音楽に接する機会は多々あります。しかし、声を出していい、指を使って鍵盤楽器を奏で、自らの創造性を活かしてオンパレードを創る機会は決して多くありません。本プログラムでは、受講生の方が音楽実技の体験を通して、自らの身体の可能性と創造性に気づき日常生活をより豊かにすることを目的としています。 https://www.edu.hirosaki-u.ac.jp/4130.html	弘前大学教育学部 教授 杉原 かおり 弘前大学教育学部 教授 今田 匡彦 弘前大学教育学部 助教 小田 直弥	高等学校を卒業した方、または同等以上の学力を有すると認められる方
21	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	特別支援教育セミナー：障害のある子どもの支援や教育を考えてみよう！	1回	令和7年3月26日	弘前大学教育学部	【主催】 弘前大学教育学部学校教育講座(特別支援教育分野)	プログラム① 「特別支援教育に携わる先生を目指そう！」 プログラム② 「障害疑似体験から支援を考えてみよう」	弘前大学教育学部 准教授 天海 文久 弘前大学教育学部 教授 増田 貴人	高校生
22	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	若手教師のためのリフレクション第一歩2024	2回	①令和6年8月9日 ②令和7年3月28日	弘前大学教育学部4階センター会議室	【主催】 弘前大学教育学部	若手教師のためのリフレクション第一歩として、以下の内容を実施 ①第1回、やってみよう。省察！ ～省察とは何か・実践的に学ぶ～ ②第2回 自分を深堀りしよう！ ～教師としての足場の再構築～	弘前大学教育学部 教授 福島 裕敏 弘前大学教育学部 教授 宮崎 充治 弘前大学教育学部 助教 吉崎 聡子 弘前大学教育学部研究科助教 若松 大輔	校種問わず若手教師
23	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	道徳科授業 UPGRADEプログラム	2回	①令和6年8月6日 ②令和6年12月27日	八戸市社会福祉協議会総合福祉会館	【主催】 弘前大学教育学部	令和4年7月1日より教員免許更新制が発展的に解消されたことを受け、教育学部ではその後継となる「新たな教師の学び」として、教員のための研修活動を新たに企画します。道徳科授業に関する研修プログラムです。	弘前大学教育学部 教授 福島 裕敏 弘前大学教育学部附属中学校 教諭 佐々木 篤史	教育関係者
24	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	グロウアップ講座2024①	2回	①令和6年8月6日 ②令和6年10月31日	弘前大学創立50周年記念会館岩木ホール	【主催】 弘前大学教職大学院 【共催】 青森県教育委員会	最新の教育評価の知識をアップデートして、子どもたちの様々な学びや育ちを見取るためのパフォーマンステキな課題やルーブリックの作成と実践を踏まえたい研修を行います。	弘前大学教職大学院 助教 若松 大輔 弘前大学教職大学院 教授 中野 博之 弘前大学教職大学院 教授 菊地 一文 他、教職大学院教員	公立及び私立学校教員、附属学校園教員、教職大学院現職教員院生
25	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	グロウアップ講座2024②	2回	①令和6年7月23日 ②令和6年9月19日	弘前大学創立50周年記念会館岩木ホール	【主催】 弘前大学教職大学院 【共催】 青森県教育委員会	「勤務校を深く知るための質的調査」をとおした「勤務校の現状と課題」の把握により、モデルリーダーとしての役割を再考するとともに「学校を活性化させる実践」を描きます。	弘前大学教職大学院 教授 三戸延聖 弘前大学教職大学院 教授 菊地 一文 弘前大学教職大学院 教授 吉田 美穂 弘前大学教育学部 教授 福島 裕敏 他、教職大学院教員及び修了生講師	公立及び私立学校教員、附属学校園教員、教職大学院現職教員院生
26	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	令和6年度指導主事研修会	1回	令和6年7月6日	弘前大学教育学部中教室 八戸ユートリー オンライン会場	【主催】 弘前大学教職大学院 【共催】 青森県教育委員会 NITSとのコラボ研修	指導主事を対象とした研修会。「学校現場にどう助言し関わるか」についての講義・演習、指導主事経験者による講演として指導主事としての役割や可能性について語り合う協議、NITSの教授による講義等構成した午前・午後2会場のオンライン結ぶとともにオンライン会場も設定した。	弘前大学大学院教育学研究科 教授 中野 博之 加賀市地域プロジェクトマネージャー 小林 湧 弘前市教育委員会 学校教育推進監 福田 真実	全国の教育機関の指導主事・主任指導主事等
27	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	令和6年度充実期研修講座		令和6年7月中旬～ 令和6年11月28日	弘前大学教育学部 オンライン	【主催】 弘前大学教職大学院 青森県教育委員会 【支援】 独立行政法人教職員支援機構 【後援】 青森県小学校長会 青森県中学校長会 青森県高等学校長協会 青森県特別支援学校校長会	青森県教育職員研修計画の研修体系に位置付けられた講座です。 育成指標において充実期教員に求められる「マネジメント力」及び「指導力」の伸長を図ることを目的としています。 教職大学院教員のコンサルテーションを受けながら、実際に勤務校においてアクションプランに取り組みます。 多忙な充実期の教員に配慮して、オンラインと集合研修(2日)を組み合わせて実施します。	教職大学院教員	学校長の推薦を得た主として30代後半～40代の県内学校教員(教諭・養護教諭等)
28	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	NITS弘前大学センター「インクルーシブな学びの場を考えるセミナー2024」	1回	令和6年10月5日	弘前大学教育学部 オンライン	【主催】 NITS弘前大学センター 【後援】 青森県教育委員会、弘前市教育委員会	子どもの側から見た学校について考え、対話をおとそそのあり方について検討することで、今後のインクルーシブな学びの場の創出に資する。	東京大学先端科学技術研究センター シニアリサーチフェロー 中邑 賢龍 弘前大学教育学部 教授 宮崎 充治	学校関係者(教員・保護者・子ども本人)、関係機関職員(福祉、行政、NPO等)、市民、大学生・大学院生等

令和6年度 公開講座・講演会等の実施状況

(令和6年4月～令和7年3月実施分)

NO	部局名	事業名	延べ開催回数 (日数)	開催日	場所	主催・共催・後援など	事業内容(概要)	講師	対象者
29	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	令和6年度NITS・弘前大学教職大学院コラボ研修「学校と保護者のいい関係づくり～トラブルを大きくさせないために学校が気をつけるべきこと～」	1回	令和7年1月11日	弘前大学教育学部2階大教室	【共催】 弘前大学大学院 教育学研究科 教職実践専攻(教職大学院)院生企画部 独立行政法人 教職員支援機構(NITS) 【後援】 青森県教育委員会	講演者の小野田正利氏と青森県のスクールロイヤーとして活躍されている木下晴耕氏を迎え、弘前大学教職大学院生と共にパネルディスカッションを行います。	弘前大学教職大学院3D ルリーダー養成コース1年 長嶺 海 大阪大学 名誉教授(講演者)小野田 正利 青森県スクールロイヤー・木下 晴耕 弘前大学教職大学院3D ルリーダー養成コース1年 三戸 大志	教員など
30	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	令和6年度NITS弘前大学センター公開セミナー	2回	①令和7年1月25日 ②令和7年2月8日	オンライン	【主催】 NITS弘前大学センター 【共催】 青森県教育委員会	新の教育課題を幅広く扱い、専門家の方々からお話を伺います。 すべてオンライン開催で、県外の方も参加可能です。 同一日に二つの回を設定しました。 各日程の申込みフォームから、登録すると二つの回に参加できます(一つだけの参加も可)。	① 弘前大学教育学部 准教授 池田 泰弘 弘前大学教育学部 教授 吉田 美穂 ② 埼玉大学 渡辺 大輔 関西大学 神谷 拓	教員など
31	医学研究科 jm5194@hirosaki-u.ac.jp	弘前大学大学院医学研究科公開講座「こどもの健康 ～最近の話題～」	1回	令和6年9月6日	医学研究科講義棟	【主催】 弘前大学大学院医学研究科 【共催】 公益社団法人青森医学振興会	地域に貢献することを目的として、一般市民の方を対象とする公開講座を実施した。会場(対面)での開催と同時に、Microsoft Teamsを利用したオンライン配信を行った。 講演1: こどものアレルギー～うまくつきあおう！～ 講演2: 発達障害(神経発達症)を知らう 講演3: 小児とAYA(思春期・若年成人)世代のがんについて	講演1 三沢市立三沢病院 小児科 院長 鈴木 友希 講演2 国立病院機構青森病院 小児科 院長 品川 友江 講演3 弘前大学大学院医学研究科 小児科学講座 教授 藤田 征弘	一般市民の方、学生、教職員
32	医学研究科 jm5194@hirosaki-u.ac.jp	弘前大学大学院医学研究科「健康・医療講演会」体系は健康のパロメーター～お腹まわりが気になるあなたへ～	1回	令和6年10月26日	新町キープ3階会議室	【主催】 弘前大学大学院医学研究科 【共催】 青森県立中央病院 公益社団法人青森医学振興会	地域に貢献することを目的として、青森県内及び近隣自治体病院の協力のもとに、一般市民の方を対象とする講演会を実施する。今年度は青森県立中央病院との共催により実施した。 講演1: 生活習慣病にならないために 講演2: 糖尿病を中心とした生活習慣病の最近の話題	講演1 青森県立中央病院 健康推進室 室長 丸山 博行 講演2 弘前大学大学院医学研究科 内分泌代謝内科学講座 教授 藤田 征弘	一般市民の方
33	保健学研究科 jm5906@hirosaki-u.ac.jp	育児中の母親のためのリフレッシュ講座	17回	①令和6年5月8日 ②令和6年5月29日 ③令和6年6月5日 ④令和6年6月14日 ⑤令和6年7月19日 ⑥令和6年8月20日 ⑦令和6年8月22日 ⑧令和6年8月26日 ⑨令和6年9月5日 ⑩令和6年9月6日 ⑪令和6年10月25日 ⑫令和6年11月15日 ⑬令和6年12月20日 ⑭令和7年1月10日 ⑮令和7年1月24日 ⑯令和7年2月6日 ⑰令和7年3月14日	①④⑤⑦⑨⑪⑫⑬⑮弘前市駅前こどもの広場 ②⑦大浦保育園 ③こども子育て支援センター ④こども子育て支援センター ⑤中里こども園 ⑥中里こども園 ⑧⑭みどり保育園 ⑩岩木児童センター ⑬弘前大学医学部附属病院 小児病棟	【共催】 弘前大学大学院保健学研究科 ①④⑤⑦⑨⑪⑫⑬⑮弘前市駅前こどもの広場 ②⑦大浦保育園地域子育て支援センター ③中泊町教育委員会、こども子育て支援センター ④中泊町教育委員会、中里こども園子育て支援センター ⑤⑧⑭みどり保育園地域子育て支援センター ⑩岩木児童センター ⑬弘前大学医学部附属病院 小児病棟	本事業は、地域で子育てをしている母親を対象に、リフレッシュ講座を開催するものである。この講座の実施により、地域で子育てをしている母親が心身ともに健やかに生活していくための一助とすること、ならびに、講座の開催を通して教育・知的資源を地域社会へ還元すると同時に地域社会から学ぶ機会とすることを目的としている。講座の内容は、精油を用いた制作体験(ハンドクリーム、エアーフレッシュナー、蜜蝋缶など)、ヨガ、子どもの看護や子育てに関する講話など、ニーズに合わせて講座内容を工夫しながら実施している。	弘前大学大学院保健学研究科看護学領域 准教授 北島 麻衣子 弘前大学大学院保健学研究科看護学領域 助教授 楠 美恵 弘前大学大学院保健学研究科看護学領域 助教授 高岡木 静香	育児中の母親
34	保健学研究科 jm5906@hirosaki-u.ac.jp	心理支援科学専攻設置記念公開講座「心のネットワークを築く・地域と共に歩む公認心理師の役割」	年3回	①令和6年5月25日 ②令和6年6月9日 ③令和6年6月3日	弘前大学創立50周年記念会館みちのくホール	【主催】 弘前大学大学院保健学研究科 心理支援科学専攻 【後援】 青森県 青森県教育委員会 弘前市 弘前市教育委員会 青森県公認心理師・臨床心理士協会	令和6年4月の大学院新設を記念して公開講座を開催する。本講座は、令和6年度中に計3回の開催を予定しており、精神疾患や神経発達症、認知症など、現代社会における心の健康に関する課題への理解を深め、地域社会全体で心理支援職者の育成という目標を共有する。	①弘前大学大学院保健学研究科 准教授 岡田 敦史、他 ②弘前大学大学院保健学研究科 教授 斉藤 まなぶ、他 ③弘前大学大学院保健学研究科 教授 大庭 輝、他	一般市民の方、心理支援職者、医療・教育・福祉関係者、自治体職員、学生、その他、興味のある方はどなたでも参加可能
35	保健学研究科 jm5906@hirosaki-u.ac.jp	弘前市民公開講座「いま知っておくべき認知症の新知識 ～病態を踏まえた治療・家族サポート～」	1回	令和7年2月8日	弘前大学創立50周年記念会館みちのくホール	【主催】 弘前大学大学院保健学研究科 生体応答科学研究センター	認知症の病態や最新の治療法に関する情報提供のほか、認知症に関する専門職の関わりについて実践例とともに紹介することにより、認知症を支える専門職の役割についても理解を深めていただくことが目的のイベント。	弘前大学医学研究科バイオメディカルリサーチセンター 脳神経内科学講座 教授・医師 富山 誠彦 弘前大学大学院保健学研究科総合リハビリテーション科学領域 講師・作業療法士 小枝 周平 弘前大学大学院保健学研究科心理支援科学領域 教授・公認心理師・臨床心理士 大庭 輝	一般市民
36	保健学研究科 jm5906@hirosaki-u.ac.jp	令和6年度子ども家庭科学研究補助金(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)『乳幼児健診におけるこどもの睡眠指導～近年の健診動向と子どもの健康への理解～』	1回	令和7年2月12日	オンライン 【オンデマンド有】	【主催】 弘前大学保健学研究科斉藤研究室 【共催】 青森県こどもみらい課 青森県発達障がい者支援センターステップ	近年の乳幼児健診の動向や子ども家庭庁が新たに推奨する睡眠保健指導に関する理解を深めること	弘前大学保健学研究科心理支援科学領域 教授 斉藤 まなぶ	自治体職員、保育士、教師等、子どもに関わる職種の方
37	保健学研究科 jm5906@hirosaki-u.ac.jp	知らねばまいね 認知症	1回	令和6年9月15日	ヒロロスクエア 多世代交流室Ⅰ、フリースペース	【主催】 弘前大学大学院保健学研究科心理支援科学専攻 医学部心理支援科学科 老年臨床心理科学研究室 【共催】 公益社団法人認知症の人と家族の会 【協賛】 タムラファーム株式会社	世界アルツハイマー月間に合わせて、地域における認知症に関する理解の普及・啓発を図ることを目的に実施した。講話に加えて子どもを対象としたクラフトワークを実施し、付き添いの保護者に講話への参加促しや認知症に関する情報を記載した手作りのパンフレットを配布した。	弘前大学 教授 大庭 輝 公益社団法人認知症の人と家族の会青森支部 加福 雅行	弘前市内の一般市民
38	保健学研究科 jm5906@hirosaki-u.ac.jp	青森労災病院・弘前大学生体応答科学研究センター共催「八戸市民公開講座」	1回	令和6年9月21日(土)	弘前大学八戸サテライト	【共催】 弘前大学大学院保健学研究科 生体応答科学研究センター 青森労災病院	がん放射線治療の基礎知識や取り組みなどを紹介、放射線治療の啓蒙のほか海外の大学教授による講義で学生たちに英語に触れてもらうことが目的。医療人を目指す高校生や市民が聴講した。	ストックホルム大学 教授 Andrzej Wojcik 青森労災病院 副院長 真里谷 靖 ストックホルム大学 博士 Prabodha Kumar Meher	高校生、一般市民

令和6年度 公開講座・講演会等の実施状況

(令和6年4月～令和7年3月実施分)

NO	部局名	事業名	延べ開催回数 (日数)	開催日	場所	主催・共催・後援など	事業内容(概要)	講師	対象者
39	理工学研究科 r_koho@hirosaki-u.ac.jp	電子情報通信学会 VLD/MSS/CAS/SIP 合同研究会	2回	①令和6年7月18日 ②令和6年7月19日	弘前大学創立50周年記念会館みちのくホール	【主催】 電子情報通信学会 【共催】 弘前大学大学院理工学研究科	①、② 電子情報通信学会の4つの研究専門委員会の合同研究会を開催した。VLSI設計技術(VLD)、システム数理と応用(MSS)、回路とシステム(CAS)、信号処理(SIP)に関する25件の研究成果が発表され、活発な意見交換・質疑応答が行われた。	弘前大学大学院理工学研究科 教授 今井 雅 (他 講演者25名)	研究者、教員、学生
40	理工学研究科 r_koho@hirosaki-u.ac.jp	軽金属学会 第1回東北地区講演会	1回	令和6年7月19日	弘前大学理工学部	【主催】 軽金属学会東北支部 【共催】 弘前大学大学院理工学研究科	軽金属材料の最先端の研究成果を地域の社会人・研究者・学生と共有するための、学術講演会。学会員に限定せず、地域の関係者に聴講を認めている。	東北大学大学院工学研究科 准教授 上田 恭介 東北大学大学院工学研究科 Huang JinXian	弘前大学大学院学生、教職員、地域の社会人で、軽金属に関する研究に興味のある方
41	理工学研究科 r_koho@hirosaki-u.ac.jp	夏休みの数学	2回	①令和6年8月3日 ②令和6年8月4日	弘前大学理工学部	【主催】 弘前大学理工学研究科	中学校や高等学校の数学の教科書に出てくる数学の世界のすぐ近くに面白い話題がたくさんあり、そのような数学の魅力の一端を高校生や一般の市民の方々に知ってもらうための企画である。	弘前大学大学院理工学研究科 教授 金正道 弘前大学大学院理工学研究科 准教授 江居 宏美	中学校、高校の数学担当教員、一般市民、高校生
42	理工学研究科 r_koho@hirosaki-u.ac.jp	化学への招待	1回	令和6年8月9日	弘前大学 理工学部 教育学部 農学生命科学部	【主催】 日本化学会東北支部 弘前大学大学院理工学研究科 【後援】 弘前市教育委員会 青森県教育委員会 東北ポリマー懇話会 弘化会	先端科学・技術の一端を担う化学に興味を抱いてもらえるよう、中学・高校生を対象に開催している。	弘前大学大学院理工学研究科 助教 関口 龍太 弘前大学大学院理工学研究科 教授 伊東 俊司 弘前大学農学生命科学研究科 准教授 栗田 大輔 弘前大学大学院理工学研究科 助教 呉羽 拓真 弘前大学教育学部 准教授 岩井 草介 弘前大学大学院理工学研究科 准教授 山崎 祥平 弘前大学大学院理工学研究科 教授 阿部 敏之	高校生、中学生、一般市民
43	理工学研究科 r_koho@hirosaki-u.ac.jp	2024年度リフレッシュ理科教室 ひかりで音をならそう！	1回	令和6年8月19日	弘前大学理工学部	【主催】 応用物理学会東北支部 【共催】 弘前大学理工学部電子情報工学科 秋田大学 岩手大学 東北大学 山形大学 日本大学工学部 【後援】 青森県教育委員会 弘前市教育委員会	小・中学校生徒を対象とした実験工作の体験を通して、科学に対する理解を深めていただく機会を提供することを目的とする。今年度は半導体を利用して、光を音に変換して楽器をつくる工作を実施した。	弘前大学大学院理工学研究科 教授 中澤 日出樹 弘前大学大学院理工学研究科 准教授 渡邊 良祐 弘前大学教育学部 准教授 島田 透 東北大学大学院工学研究科 教授 宮崎 謙 山形大学大学院理工学研究科 准教授 大首 隆男 東北文化学園大学工学部 教授 鈴木 伸夫	理科に興味のある小中学生と保護者
44	理工学研究科 r_koho@hirosaki-u.ac.jp	銀河・銀河間ガス研究会 2024	4回	①令和6年8月19日 ②令和6年8月20日 ③令和6年8月21日 ④令和6年8月22日	弘前大学創立50周年記念会館岩木ホール	銀河・銀河間ガス研究会 2024組織委員会 【共催】 弘前大学大学院理工学研究科 弘前大学宇宙物理学研究センター	本研究会は、特に銀河に関わる天文学分野の最新の研究成果を共有し、新たな共同研究へと発展させることを目的とした研究会である。招待講演および一般講演の他に、少人数によるグループワークを実施し、具体的な研究テーマの立案を通して、若手育成及び人材交流を促進する。	国立天文台 石垣 美歩 筑波大学 福島 肇 信州大学 三澤 透 名古屋大学 市来 淨興 関西学院大学 中井 直正 大阪大学 豊内 大輔	研究者、大学院生
45	理工学研究科 r_koho@hirosaki-u.ac.jp	電子情報通信学会合同研究会	2回	①令和6年8月29日 ②令和6年8月30日	弘前大学創立50周年記念会館岩木ホール	【主催】 電子情報通信学会 弘前大学大学院理工学研究科 【共催】 日本信頼性学会 IEEE Reliability Society Japan Chapter 【後援】 EEE Photonics Society Kansai Chapter	電子情報通信学会では、大学、研究機関、企業等が有する、電子情報通信分野に関わる最新の研究成果を発表・討論する研究会を開催しています。本年度は、「受光素子・変調器、光部品・電子デバイス実装・信頼性、及び一般」を議題として取り上げ、5つの研究専門委員会(CPM、R、EMD、OPE、LGE)による合同研究会を開催しました。	弘前大学大学院理工学研究科 教授 中澤 日出樹(他 講演者15名)	電子情報通信学会一般会員、学生会員、一般非会員、学生非会員
46	理工学研究科 r_koho@hirosaki-u.ac.jp	有機合成化学協会東北支部主催「青森地区講演会」	1回	令和6年10月31日	弘前大学創立50周年記念会館みちのくホール	【主催】 有機合成化学協会東北支部 【共催】 弘前大学大学院理工学研究科	有機合成化学協会東北支部の支援により、東北支部に所属する各地区持ち回りで開催されている講演会で、常日頃このような講演会の開催の少ない各地区の学生・教職員を対象に有機合成化学の最先端の講演を受ける貴重な機会を提供する。	東北大学大学院理学研究科 教授 寺田 昌浩	弘大生、教職員、研究者
47	理工学研究科 r_koho@hirosaki-u.ac.jp	電子情報通信学会 HWS/ICD 合同研究会	1回	令和6年11月1日	弘前大学創立50周年記念会館みちのくホール	【主催】 電子情報通信学会 【共催】 弘前大学大学院理工学研究科	電子情報通信学会の2つの研究専門委員会の合同研究会を開催した。ハードウェアセキュリティ(HWS)、集積回路(ICD)に関する12件の研究成果が発表され、活発な意見交換・質疑応答が行われた。	弘前大学大学院理工学研究科 教授 今井 雅 (他 講演者12名)	研究者、教員、学生
48	理工学研究科 r_koho@hirosaki-u.ac.jp	2024年度 日本化学会東北支部青森地区講演会	1回	令和6年11月1日	弘前大学理工学部	【主催】 日本化学会東北支部 【共催】 弘前大学大学院理工学研究科	化学関連の研究者を招聘し、弘前大学や近隣大学の学生・教職員等を対象に、講演者の最先端研究についての講演会を開催している。	芝浦工業大学 工学部 准教授 廣井 卓忠	弘前大学生、教職員

令和6年度 公開講座・講演会等の実施状況

(令和6年4月～令和7年3月実施分)

NO	部局名	事業名	延べ開催回数 (日数)	開催日	場所	主催・共催・後援など	事業内容(概要)	講師	対象者
49	理工学研究科 r.koho@hirosaki-u.ac.jp	電子情報通信学会東北支部講演会	1回	令和6年11月29日	弘前大学創立50周年記念会館みちのくホール	【主催】 電子情報通信学会東北支部 【共催】 弘前大学大学院理工学研究科 【協賛】 IEEE仙台支部	X線コンピュータ断層撮影装置(CT)や陽電子放出断層撮影装置(PET)といったドーナツ状の大型装置は、人体をスライスして撮影をしたわけではないのに、どうして人体の輪切り画像を取得できるのだろうか。この問題は、画像再構成とよばれる魔法のような仕組みによって具現化されており、医療の現場で広く利用されているようだ。本講演では、これら断層撮影装置の画像化の鍵となる画像再構成技術について、どのような原理で、どんな計測データが、どのように処理され人体の輪切り画像になっていくのか、なるべく平易に解説する。また、AI技術の発展により高度化した最新の画像再構成手法についても議論する。	浜松トニクス株式会社 中央研究所 橋本 二三生	弘大生、研究者、教職員
50	理工学研究科 r.koho@hirosaki-u.ac.jp	第12回弘前非線形方程式研究会	2回	①令和6年11月29日 ②令和6年11月30日	弘前大学総合教育棟	【主催】 弘前非線形方程式研究会 【共催】 弘前大学大学院理工学研究科 【協力】 日本学術振興会 科学研究費補助金	全国から研究者が参加して、自然現象や社会現象などを記述する様々な非線形微分方程式の数学解析に関する最新の研究成果の発表および討論を行う。	神奈川大学 津原 駿 日本大学 水野 将司 東京科学大学 利根川 吉廣 早稲田大学 飯田 祥樹 室蘭工業大学 可香谷 隆 室蘭工業大学 若狭 恭平 京都大学 前川 泰則	全国の研究者、弘前大学生・大学院生など
51	理工学研究科 r.koho@hirosaki-u.ac.jp	日本金属学会東北支部地区研究発表大会	1回	令和6年12月4日	弘前大学創立50周年記念会館みちのくホール	【主催】 日本金属学会東北支部 【共催】 弘前大学大学院理工学研究科、軽金属学会東北支部	金属材料に関する国内の著名研究者による講演、および東北地区の研究・教育機関における金属材料に関する研究成果の発表大会。	日本金属学会フェロー・九州大学 教授 東田 賢二 物質・材料研究機構 構造材料研究センター長 大村 孝仁 東北大学 教授 鈴木 茂 日本大学 教授 上野 俊吉、他	金属材料に関する最近の研究成果に興味を持つ研究者、学生、社会人(民間企業、自治体職員等)
52	理工学研究科 r.koho@hirosaki-u.ac.jp	令和6年度 高分子学会東北地区 先端高分子セミナー	2回	令和7年3月17日(火) 令和7年3月18日(水)	弘前大学理工学部	【主催】高分子学会東北支部 【共催】弘前大学大学院理工学研究科	高分子化学・材料化学関連の研究の第一線で活躍されている研究者を招聘し、高分子学会員や本学の学生・教職員等を対象に、講演者の最先端研究についての講演会を開催した。	東北大学 助教 渡部 花奈子 山形大学 助教 野澤 恵理花 弘前大学理工学研究科 准教授 本田 俊 弘前大学理工学研究科 博士後期2年 木村 なな子	弘前大学生、教職員、高分子学会員
53	理工学研究科 r.koho@hirosaki-u.ac.jp	一般相対論と宇宙論研究会	1回	令和7年3月22日	弘前大学理工学部	【主催】 「一般相対論と宇宙論研究会」実行委員会 【共催】 弘前大学大学院理工学研究科 宇宙物理学研究センター	近年、背景重力波の観測や超巨大ブラックホールの観測、宇宙加速膨張の精密測定が行われています。このような観測的な進捗状況を踏まえ、一般相対性理論、宇宙論、宇宙物理学に関する研究会を開催します。参加者間の議論の場を提供します。	日本大学 荒木田 英樹 大阪公立大学 石原 秀樹 弘前大学 倉又 秀一 広島大学 小島 康史 高知工科大学 須藤 靖 神戸大学 早田 次郎 仙台大専 林 航平 ASIAA/東北大学 二間 潮 敏史 理研/お茶の水女子大学 森川 雅博	弘前大学生、教職員、天文学会会員、理論懇親会会員
54	農学生命科学部 jm3748@hirosaki-u.ac.jp	令和6年度 弘前大学農学生命科学部市民公開講座	1回	令和6年10月20日	農学生命科学部 433講義室	【主催】 弘前大学農学生命科学部	21世紀後半に青森県で予想される気候変化と、リンゴ栽培や稲作への影響について、講師である伊藤大雄教授の研究成果を紹介した。	弘前大学農学生命科学部 附属生物共生教育研究センター 教授 伊藤 大雄	一般、教職員、学生等
55	農学生命科学部 jm3748@hirosaki-u.ac.jp	弘前大学農学生命科学部市民公開講座 「日本と台湾の自然共生の道」	1回	令和6年12月15日	ヒロロ3F 多世代交流室2(ハイブリッド開催)	【主催】 弘前大学農学生命科学部 【共催】 公益財団法人砂防学会東北支部	11月4日～9日に農学生命科学部2年生を対象とした台湾での現地研修を行い、「グリーンイノベーションと共生の道」環境へのエンジェリングソリューション(テーマに、台湾の洋上風力発電、漁業との共存、生態系再生、そして八田與一が遺した農業土木施設について学んだ成果を報告した。	弘前大学 農学生命科学部 准教授 鄭 青穎 弘前大学 農学生命科学部 助教 矢田谷 健一 農学生命科学部学生	一般、教職員、学生等
56	農学生命科学部 jm3748@hirosaki-u.ac.jp	公開講座「リンゴを科学する」	1回	令和7年1月26日	板柳町多目的ホール「あふる」	【主催】 弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター・藤崎農場 【共催】 板柳町 【後援】 弘前市 平川市 藤崎町	リンゴに関する最新情報の提供及び取組事例の紹介等	弘前大学 農学生命科学部 教授 伊藤 大雄 弘前大学 農学生命科学部 教授 藤 樹雄 農業・食品産業技術総合研究機構 上級研究員 岸本 英成 弘前大学 人文社会科学部 教授 黄 孝春	リンゴ生産者、リンゴ産業関係者、一般市民
57	地域社会研究科 jm3187@hirosaki-u.ac.jp	弘前大学大学院地域社会研究科 令和6年度公開セミナー	3回	①令和6年10月31日 ②令和6年11月6日 ③令和6年11月26日	土手町コミュニティパーク オンライン配信(アップルストリーム)	【主催】 弘前大学大学院地域社会研究科	地域社会研究科の授業内容を地域住民を対象に公開することにより、地域住民が大学院レベルの専門的知識を用いて、地域の課題解決のための担い手となる人財育成を目的とし、本研究科の3つの講座が、それぞれの特徴を活かした講義を実施した。	① 弘前大学地域社会研究科 教授 李 永俊 弘前大学地域社会研究科 教授 飯島 裕胤 ② 弘前大学地域社会研究科 教授 平井 太郎 弘前大学地域社会研究科 教授 今田 匡彦 ③ 弘前大学地域社会研究科 教授 福島 裕敏 弘前大学地域社会研究科 教授 増田 貴人	興味のある方
58	地域社会研究科 jm3187@hirosaki-u.ac.jp	弘前大学大学院地域社会研究科 地域研究プロジェクトシンポジウム「りんご新品種の商業化を考える」	1回	令和6年12月23日	弘前市総合学習センター 大会議室	【主催】 弘前大学大学院地域社会研究科	地域社会研究科の研究助成を用いて実施したプロジェクトにおいて、りんご新品種の商業化におけるクワブ制導入の可能性とその導入のスキームを実証的に検討し、高品質・安定生産によるブランド化を通じて地域のりんご産業の活性化を目指すことを目的とし、青森県内関連業者を集めたシンポジウムを開催した。	弘前大学地域社会研究科 教授 黄 孝春 弘前大学地域社会研究科大学院生 三上 浩樹 コレオ・ジャパン社長 今 智之 農業・食品産業技術総合研究機構 上級研究員 岸本 英成 弘前大学 人文社会科学部 教授 黄 孝春 弘前大学地域社会研究科 教授 李 永俊 弘前大学地域社会研究科 教授 飯島 裕胤 弘前大学地域社会研究科 教授 平井 太郎 弘前大学地域社会研究科 教授 今田 匡彦 弘前大学地域社会研究科 教授 福島 裕敏 弘前大学地域社会研究科 教授 増田 貴人	県、市町村、農協、りんご移住業者、生産者、その他りんご関係者

令和6年度 公開講座・講演会等の実施状況

(令和6年4月～令和7年3月実施分)

NO	部局名	事業名	延べ開催回数 (日数)	開催日	場所	主催・共催・後援など	事業内容(概要)	講師	対象者
59	地域共創科学研究科 jm3187@hirosaki-u.ac.jp	弘前大学大学院地域共創科学研究科「地域共創シンポジウム2024」	1回	令和7年1月28日	弘前大学創立50周年記念会館岩木ホール	【主催】 弘前大学大学院地域共創科学研究科	社会学・工学・経営学・農学を中心に、関連諸学や地域機関・市民との協働により、「地域を守り」「地域から攻める」ことに資する研究シーズの探査や基礎研究および応用研究を意味する「共創研究」に関する研究成果を紹介するシンポジウムを実施した。	弘前大学地域共創科学研究科 教授 勝川 健三 弘前大学地域共創科学研究科 教授 官 国清 弘前大学地域共創科学研究科 准教授 古村 健太郎 弘前大学地域共創科学研究科 准教授 上原 晶久 シロバナタンポポ保全団体「シロバナの再考」代表 北畠 清美 新潟大学創生学部 准教授 澤邊 直 NPO法人青森未来エネルギー戦略会議 理事(株式会社トリエニティ代表取締役社長) 猪股 仁 株式会社キタコン企画管理部 藤田 弘昭	興味のある方
60	地域共創科学研究科 jm3187@hirosaki-u.ac.jp	地域に即した地震災害軽減を目指して―能登半島地震に学ぶ―	1回	令和7年2月28日	教育学部大教室	【主催】 弘前大学大学院地域共創科学研究科 弘前大学大学院理工学研究科 【後援】 東奥日報 陸奥新報 青森県 弘前市 弘前地区消防事務組合 NHK青森放送局	「令和6年能登半島地震」をきっかけに、地域共創科学研究科で発足した特別研究プロジェクトの研究報告を行うとともに、学内の教員にも参加いただき、地震の多面的な様相を報告し、今後の地震災害軽減のために、被害様相の原因を解明することや、被害への対応を学ぶことを目的として開催する。	弘前大学地域共創科学研究科教授 片岡 俊一 弘前大学地域共創科学研究科教授 小出 直人 弘前大学地域共創科学研究科 教授 平井 太郎 弘前大学地域共創科学研究科 教授 梅田 浩司 弘前大学地域共創科学研究科 教授 泉谷真実 弘前大学地域共創科学研究科 教授 石塚敬史 弘前大学地域共創科学研究科 准教授 上原 晶久 弘前大学地域共創科学研究科 准教授 道家涼介 弘前大学理工学研究科 教授 前田 拓人 弘前大学農学生命科学部 助教 岸岡 智也 弘前大学被ばく医療連携推進機構 教授 伊藤 勝博	青森県民 青森県内の自治体職員(消防職員を含む) 弘前大学学生
61	地域戦略研究所 jm3363@hirosaki-u.ac.jp	弘大食料研サイエンスカフェ	2回	①令和6年7月21日 ②令和7年3月15日	cafe&space ivy	【主催】 弘前大学地域戦略研究所食料科学研究部門	地域貢献の一環として、食の研究の話題を中心に科学を一般市民に分かりやすく伝え、科学に親しんでもらうことを目的としている。	①弘前大学人文社会科学部 教授 日比野 愛子 ②東北大学大学院生命科学部 准教授 大坪 嘉行	一般市民
62	国際連携本部 jm3124@hirosaki-u.ac.jp	外国人留学生から直接聞ける世界のおはなし	2回	前期 令和6年7月6日 後期 令和7年1月25日	弘前文化センター	【主催】 弘前市教育委員会(弘前市立中央公民館) 【共催】 弘前大学国際連携本部	弘前大学で日本語を学ぶ外国人留学生が、母国について日本語で紹介することで、学習成果を発表する場となると同時に、外国人留学生と市民との交流の場となり、市民が外国の文化を知る機会を創出している。	本学で日本語を学ぶ外国人留学生	弘前市在住の方または市内に通学、通勤されている方
63	地域創生本部 jm3915@hirosaki-u.ac.jp	弘大じよっぱり起業家塾2024	11回	①令和6年6月20日 ②令和6年7月18日 ③令和6年8月22日 ④令和6年9月5日 ⑤令和6年9月19日 ⑥令和6年10月3日 ⑦令和6年10月17日 ⑧令和6年10月31日 ⑨令和6年11月7日 ⑩令和6年11月21日 ⑪令和6年12月12日	弘前大学創立50周年記念会館	【主催】 弘前大学地域創生本部 【後援】 青森経済同友会 弘前商工会議所 青森県中小企業団体中央会(一社)ラビオニー津軽	ビジネスモデルの組み立て方や地域資源を活かした経営戦略など、新たなビジネスにつながる学びを提供することで、起業家の育成や若者の雇用の受け皿を増加させ今後さらなる起業家の育成や地域の振興を促進することを目的として実施した。	弘前大学人文社会科学部 教授 森 樹男 弘前大学農学生命科学部 教授 石塚 敬史 ㈱TOMUSHI 代表取締役CEO 石田 隆佑 ㈱日本政策金融公庫 融資課長 山崎 雄 AOMORI STARTUP C ENTER 植松 宏真 JR東日本スタートアップ ㈱ 代表取締役社長 柴田 裕 ㈱スプラウトジャパン 代表取締役 山内 和彦	大学生、教職員、自治体職員高校生、社会人
64	医学部附属病院 jm6453@hirosaki-u.ac.jp	専門看護師・認定看護師による公開講座	3回	①令和6年6月13日 ②令和6年9月24日 ③令和6年11月14日	メディカルスタッフ研修室	【主催】 弘前大学医学部附属病院看護部	専門看護師・認定看護師による確かな知識と技術を学び、各医療機関でよりよい看護サービスを提供し、患者の早期回復の支援となることを目的としている。 今年度は、①糖尿病治療薬の知識②術前看護の基礎知識③「非がん」の緩和ケアをテーマとした。	糖尿病看護認定看護師 桜庭 咲子 手術看護専門看護師 石岡 朋子 緩和ケア認定看護師 佐藤 千紗斗、慢性心不全看護認定看護師 佐藤 みな	地域の看護師
65	医学部附属病院 jm6453@hirosaki-u.ac.jp	青森県感染対策協議会(AICON)市民公開講座	1回	令和6年7月20日	弘前市民文化交流館ホール(ヒロロ4階)	【主催】 青森県感染対策協議会(AICON) 【共催】 弘前大学医学部附属病院 【後援】 青森県	一般市民に対し、自然災害が顕著に激甚化・頻発化しているなか、日ごろからの備えはとて重要になる。災害時にどのような行動を取ればよいのか、どういったものを揃えておけばよいかなどの知識を得て、安全に対応するにはどうすればよいかを防災士と一緒に考え、マイ・タイムラインについて学習。 自宅や避難場所において、自身や家族が少しでも安心して過ごせるように基本的な感染対策について、参加者同士で話し合い、学びを深めてもらうことを目的に市民公開講座を開催。	弘前大学 災害・被ばく医療教育センター 三上 直伸 弘前大学医学部附属病院 感染制御センター長 斎藤 紀光 弘前大学医学部附属病院 感染対策担当看護師 長 木村 俊幸 弘前大学医学部附属病院 感染管理認定看護師 尾崎 清美 弘前大学医学部附属病院 感染制御センター看護師 安田 あゆみ	一般市民
66	医学部附属病院 jm6453@hirosaki-u.ac.jp	呼吸器ハズオンセミナー2024	1回	令和6年9月1日	青森県立中央病院研修室	【主催】 弘前大学大学院医学研究科呼吸器内科学講座 NPO法人北東北呼吸器医療推進機構 【共催】 日本呼吸器学会東北支部	症例検討および、内視鏡のデモンストレーションを行い、実際にNPPV、スパイロメーターなどの機器に触れてもらいながら、臨床医において習得しておきたい呼吸器診療の教育、普及を行った。	弘前大学大学院医学研究科呼吸器内科学講座	青森圏内医師 初期研修医 医学部実習学生

令和6年度 公開講座・講演会等の実施状況

(令和6年4月～令和7年3月実施分)

NO	部局名	事業名	延べ開催回数 (日数)	開催日	場所	主催・共催・後援など	事業内容(概要)	講師	対象者
67	医学部附属病院 jm6453@hirosaki-u.ac.jp	第1回県民公開講座	1回	令和6年10月20日	土手町コミュニティパーク多目的ホール(弘前市)	【共催】 特定非営利活動法人日本高血圧協会 青森県 弘前大学医学部附属病院脳卒中・心臓病等総合視線センター 弘前大学大学院医学研究科循環器腎臓内科学講座 【協賛】 オムロンヘルスケア株式会社 カゴメ株式会社 大塚食品株式会社 亀田製菓株式会社 【後援】 弘前市 青森県医療ソーシャルワーカー協会 東奥日報社 陸奥新報社	高血圧の予防と治療、服薬管理の重要性に関する情報を広く県民に周知する。	中津地域県民局 地域健康福祉部 保健給室(弘前保健所) 医師 村上 光太郎 さいとう調剤薬局本町店 管理薬剤師 齋藤 武 弘前大学大学院医学研究科循環器腎臓内科学講座 教授 富田 泰史	青森県民どなたでも
68	医学部附属病院 jm6453@hirosaki-u.ac.jp	緩和ケア研修会	1回	令和6年10月26日	弘前大学医学部附属病院(外来診療棟5階大会議室)	【主催】 弘前大学医学部附属病院	がん等の診療に携わる全ての医療従事者が基本的な緩和ケアについて正しく理解し、緩和ケアに関する知識や技術、態度を修得することを目的とする。	弘前大学大学院医学研究科地域侵襲制御医学講座(麻酔科) 准教授 木村 太	青森県内でがん等の診療に携わる医療従事者で、募集定員規定のe-learning研修の受講を修了した者
69	医学部附属病院 jm6453@hirosaki-u.ac.jp	難病医療ネットワーク学会市民公開講座	1回	令和6年10月26日	弘前文化センター	【主催】 弘前大学医学部脳神経内科 【共催】 日本難病医療ネットワーク学会	難病医療の理解をふかめる	西日本平部会 神経内科クリニック 藤田 拓司 滋賀医科大学 脳神経内科 漆谷 真 国際医療福祉大学市川病院 浅川 孝司 福岡県難病医療連絡協議会 原田 幸子	市民
70	医学部附属病院 jm6453@hirosaki-u.ac.jp	市民公開講座 「乳房再建を学ぼう! @青森」	1回	令和6年10月27日	土手町コミュニティパーク	【主催】 日本形成外科学会 【共催】 弘前大学大学院医学研究科形成外科学講座	一般市民に乳癌治療と乳房再建について分かりやすく解説し、乳房再建に対する理解を深めてもらう。	(乳癌治療について) 弘前大学医学部附属病院乳癌外科 岡野 健介 (乳房再建について) 弘前大学医学部附属病院同形成外科 漆崎 聡志	乳癌治療、乳房再建に興味のある市民一般
71	医学部附属病院 jm6453@hirosaki-u.ac.jp	第2回県民公開講座「脳卒中とともに暮らす」	1回	令和6年11月3日	県民福祉プラザ4階 県民ホール	【共催】 青森県 弘前大学医学部附属病院脳卒中・心臓病等総合支援センター 青森産業保険総合支援センター 青森地域広域事務組合消防本部 公益社団法人日本脳卒中協会青森県支部	脳卒中の予防と治療、リハビリや治療と仕事の両立支援に関する情報を広く県民に周知する。	弘前大学大学院医学研究科 脳神経外科学講座 教授 斉藤 敦志 弘前大学医学部附属病院 医療技術部 リハビリテーション部門 療法士長 作業療法士 西村 信哉 独立行政法人 労働者健康安全機構 青森産業保健総合支援センター 副所長 小林 忠	青森県民どなたでも
72	医学部附属病院 jm6453@hirosaki-u.ac.jp	第26回家庭でできる看護ケア教室	1回	令和6年11月7日	弘前大学医学部コミュニケーションセンター	【主催】 弘前大学医学部附属病院看護部	一般市民を対象に、健康増進・介護予防・家庭や地域で誰もが実践できる看護ケアについての知識や技術を提供する。今年度は、感染対策をテーマとした。	弘前大学医学部附属病院 感染管理認定看護師 木村 俊幸	市民の方
73	医学部附属病院 jm6453@hirosaki-u.ac.jp	世界糖尿病デーIN弘前市民公開講座	1回	令和6年11月14日	土手町コミュニケーションプラザA館(1F)	【主催】 弘前大学大学院医学研究科内分泌代謝内科学講座 【共催】 日本糖尿病協会東北支部	糖尿病に関する正しい知識を知ってもらうために、世界糖尿病デーである11月14日に合わせて、市民向けの公開講座を開催しました。また、健康相談を行ったり、体脂肪測定、血糖測定のコーナーを設けて、実際に体験していただきました。	弘前大学内分泌代謝内科学講座 藤田 征弘、田辺壽太郎 弘前大学医学部附属病院 栄養管理部 藤田 裕恵 ボディスイッチ 佐藤 卓哉、佐藤 優子	市民一般、弘前市内・近隣の糖尿病患者及びその家族、医療従事者
74	医学部附属病院 jm6453@hirosaki-u.ac.jp	北東北 道南神経筋で筋診断技術セミナー	1回	令和6年11月16日	青森県立中央病院	【主催】 弘前大学医学部脳神経内科 青森県立中央病院脳神経内科 【協力】 日本光電株式会社	電気生理診断技術をたかめる	青森県立中央病院脳神経内科 馬場 正之 弘前医療福祉大学保健学 尾崎 勇 弘前大学医学部脳神経内科 村上 千恵子 青森病院脳神経内科 木村 珠喜 青森県立中央病院脳神経内科 上野 達哉	医師、検査技師
75	医学部附属病院 jm6453@hirosaki-u.ac.jp	令和6年度治療と仕事の両立支援セミナー～脳卒中や心臓病の治療と仕事の両立を考える～	1回	令和6年11月23日	新町キューブ3階会議室(青森市)	【共催】 弘前大学医学部附属病院脳卒中・心臓病等総合支援センター 青森産業保健総合支援センター	治療と仕事の両立支援を行うにあたっては、労働者本人の理解と同意のもと、事業者や医療機関等の関係者が必要に応じて連携することで、労働者本人の治療や業務の状況に応じた、より適切な支援の実施が可能となる。事業者と医療機関、両立支援コーディネーターが円滑な連携を行うため、支援における役割や考え方などについて相互理解をはかる。	独立行政法人 労働者健康安全機構 青森産業保健総合支援センター 所長 中路 重之 弘前大学大学院医学研究科 むつ下北地域医療学講座 講師 石田 祐司 脳卒中と向き合う活動団体OneFeels 代表 佐々木 三之	青森県の事業所、人事労務担当者、産業保健スタッフ、両立支援コーディネーターなど
76	医学部附属病院 jm6453@hirosaki-u.ac.jp	第17回弘大病院がん診療市民公開講座	1回	令和6年12月1日	アートホテル弘前シティエメラルド	【主催】 弘前大学医学部附属病院 【共催】 東北広域次世代がんプロ養成プラン	弘前大学医学部附属病院のがん診療を広く市民の皆様に知って頂くことを目的に開催し、がんについて専門家がそれぞれの立場からわかりやすく講演する。	弘前大学医学部附属病院 腫瘍内科学講座 斎藤 純介 弘前大学医学部附属病院 消化器血液免疫内科学講座 立田 哲也 弘前大学医学部附属病院 放射線腫瘍学講座 廣瀬 勝己 弘前大学医学部附属病院 泌尿器科学講座 畠山 真吾	一般市民

令和6年度 公開講座・講演会等の実施状況

(令和6年4月～令和7年3月実施分)

NO	部局名	事業名	延べ開催回数 (日数)	開催日	場所	主催・共催・後援など	事業内容(概要)	講師	対象者
77	医学部附属病院 jm6453@hirosaki-u.ac.jp	第17回青森臨床糖尿病研究会/第59回青森糖尿病週間学術講演会	1回	令和6年12月15日	弘前大学医学部コミュニケーションセンター	【主催】 弘前大学大学院医学研究科内分泌代謝内科学講座 【共催】 (講演会内のランチョンセミナーの共催) 田辺三菱製薬株式会社 日本イーライリリー株式会社	糖尿病に関する臨床研究の発表・知識の交換・情報の提供等を行い、糖尿病に関する研究の進歩・知識の普及を図ることを目的として、学術集会を開催しています。	シンポジウム 弘前大学内分泌代謝内科学講座 藤田 征弘 松橋 有紀、中村 竜馬 弘前総合医療センター 糖尿病・内分泌内科 松本 敦史 弘前大学医学部附属病院 看護部 北山 紗稀、松山 裕美 弘前大学医学部附属病院 栄養管理部 三上 恵理 弘前大学医学部附属病院 薬剤部 蛭川 郁 駅前クリニック 村上 宏 ランチョンセミナー 中通総合病院 栄養部長 兼 糖尿病・内分泌内科統括科長 松田 大輔、他	青森県内、秋田県(県北)内の糖尿病診療に携わる医療従事者(医師、看護師、栄養士、薬剤師など)
78	医学部附属病院 jm6453@hirosaki-u.ac.jp	令和6年度 青森県医療者講演会 各病期における脳卒中患者との関わり～多職種による医療連携～	1回	令和6年12月17日	<配信会場> 弘前大学医学部附属病院4階共有ミーティング室(ZOOM開催)	【主催】 弘前大学医学部附属病院脳卒中・心臓病等総合支援センター 【後援】 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 青森新都市病院	回復期・維持期において脳卒中患者が直面する身体的・精神的・社会的な課題点を共有し、スムーズな医療連携の一助とする。	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 副院長 医師 馬場 佳子 青森新都市病院 医療支援課 係長 医療ソーシャルワーカー 張間 絢子	循環器病(脳卒中・心臓病等)患者の医療やケアに関わるスタッフ
79	医学部附属病院 jm6453@hirosaki-u.ac.jp	訪問看護師対象学習会	1回	令和7年2月16日	弘前大学医学部附属病院(大会議室)およびZOOMによるオンライン	【主催】 総合患者支援センター	訪問看護に役立つ情報を発信する目的で年1回開催している。今年度は、精神科領域に焦点を当てる。	弘前大学医学部附属病院 神経科精神科 坂本 由唯	津軽・西北五地区の訪問看護師
80	医学部附属病院 jm6453@hirosaki-u.ac.jp	公開講座 医療的ケア児支援	1回	令和7年2月22日	弘前大学医学部附属病院 多目的棟 多目的室	【主催】 弘前大学医学部附属病院看護部 【協力】 青森県小児在宅支援センター 弘前医療的ケア児を支援する会 わ	医療的ケア児支援 急変時の対応 ～医療的ケア児への支援について保健・医療・福祉関係者とのつながりを深めましょう～	青森県小児在宅支援センター 富樫 沙緒里 弘前大学医学部附属病院 小児看護専門看護師 齋藤 身和	医療的ケア児に携わる保健・医療・福祉スタッフ
81	医学部附属病院 jm6453@hirosaki-u.ac.jp	第33回 弘前大学医学部附属病院緩和ケア公開講座	1回	令和7年3月13日	弘前大学医学部附属病院(外来診療棟5階大会議室)	【主催】 弘前大学医学部附属病院腫瘍センター	がん等の診療に携わる医療従事者が緩和ケアに関する知識や技術を習得することを目的とする。	弘前大学医学部附属病院 緩和ケア認定看護師 佐藤 千砂斗 弘前大学医学部附属病院 慢性心不全看護認定看護師 佐藤 みな	院内教職員 医療従事者 福祉関係者
82	被ばく医療総合研究所 jm5401@hirosaki-u.ac.jp	災害支援医療従事者養成講座(履修証明プログラム)	32回	—	—	【主催】 弘前大学災害・被ばく医療教育センター	本プログラムは、県内の医療機関、原子力関連機関所属者などを対象に、今後予想される日本海溝・千島海溝を震源とする巨大地震、原子力災害を含めた各種災害発生時に医療従事者の支援が可能な人材を育成することを目的として開講。	弘前大学大学院地域共創科学研究科 教授 片岡 俊一 弘前大学大学院理工学研究科 准教授 石田 祐宣 他	県内の医療機関、原子力関連機関所属者 他
83	被ばく医療総合研究所 jm5401@hirosaki-u.ac.jp	令和6年度 弘前大学浪江町復興支援活動成果報告会・交流会	1回	令和6年10月5日	道の駅なみえ	【主催】 弘前大学被ばく医療総合研究所	平成23年9月29日福島県浪江町と連携に関する協定書を締結し、本学では浪江町と協力しながら、町民の健康相談、環境放射線モニタリングなど様々な支援活動を継続して取り組んでいる。その支援活動の成果について紹介した。	弘前大学被ばく医療総合研究所 教授(所長) 床次 真司 弘前大学被ばく医療総合研究所 教授 三浦 富智 弘前大学被ばく医療総合研究所 教授 赤田 尚史 弘前大学医学部附属病院高度救命救急センター長 花田 裕之 弘前大学被ばく医療総合研究所 准教授 大森 康孝 弘前大学大学院保健学研究科大学院生 中山 亮、田岡 愛弥 弘前大学教育学部学部学生 木村 壮志	福島県浪江町民、近隣市町村住民 他

令和6年度 公開講座・講演会等の実施状況

(令和6年4月～令和7年3月実施分)

NO	部局名	事業名	延べ開催回数 (日数)	開催日	場所	主催・共催・後援など	事業内容(概要)	講師	対象者
84	被ばく医療総合研究所 jm5401@hirosaki-u.ac.jp	陸上自衛隊弘前駐屯地 放射線防護研修	1回	令和6年12月2日	弘前大学創立50周年記念会館岩木ホール	【主催】 弘前大学被ばく医療総合研究所 弘前大学被ばく医療連携推進機構	災害時に活動する自衛隊員が原子力災害等に備え放射線防護に関する研修を受講することにより、万が一、原子力災害等が発生した場合に適切に対応できる知識と技術を身につけることを目的として、講義と演習による研修を実施した。	弘前大学被ばく医療総合研究所 教授(所長) 床次 真司 弘前大学被ばく医療総合研究所 教授 三浦 富智 弘前大学被ばく医療総合研究所 特任助教 菊池和真 弘前大学災害・被ばく医療教育センター 助教 辻口 貴清 弘前大学保健学研究科 教授 細田 正洋 弘前大学被ばく医療総合研究所 教授 田副 博文 弘前大学被ばく医療総合研究所 准教授 大森康孝 弘前大学被ばく医療総合研究所 助教 藤嶋 洋平 弘前大学被ばく医療総合研究所 助教 Anderson Donovan	陸上自衛隊弘前駐屯地の自衛隊員
85	被ばく医療総合研究所 jm5401@hirosaki-u.ac.jp	第3回災害医療セミナー	1回	令和6年11月6日	弘前大学 医学部コミュニケーションセンター 大会議室	【主催】 弘前大学被ばく医療連携推進機構災害・被ばく医療教育センター	外部講師を招聘し「南海トラフ地震への備え」、「社会福祉施設での災害対応」について講演を実施	愛知医科大学災害医療研究センター 教授 津田雅庸 国立病院機構本部厚生労働省DMAT事務局 主査 千島 佳也子	災害支援医療従事者養成講座受講者 他
86	被ばく医療総合研究所 jm5401@hirosaki-u.ac.jp	第4回災害医療セミナー	1回	令和7年3月27日	弘前大学大学院 保健学研究科 大学院講義室1	【主催】 弘前大学被ばく医療連携推進機構災害・被ばく医療教育センター	外部講師を招聘し「レジャーやイベント会場の救急室勤務で知っておくといきたいかもしれない特殊なお話」、「東京国際空港航空機事故とその後の対応」、「サリン事件から30年を経て～国際標準研修エマルゴの紹介～」について講演を実施	昭和大学江東豊洲病院 脳血管センター長 池田 尚人 東邦大学医療センター大森病院 救命救急センター長 本田 満 富山大学 名誉教授 奥寺 敬	弘前大学学生 弘前大学教職員 県内医療従事者 消防職員 他
87	研究推進部 jm3911@hirosaki-u.ac.jp	けっぱれ！高校生起業家塾2024	1回	令和6年11月24日	ねぶたの家 ワ・ラッセ 交流学習室3	【主催】 弘前大学	高校生が起業に必要な基礎知識やマインドセットを身につけ、アイデアの作り方やビジネスプランの組み立て方、プレゼンテーションの方法など起業について学びと体験を提供するプログラム。	八戸学院大学地域経営部地域経営学科 講師川 守田 景子 創業コーディネーター 植松 宏真 アイ合同会社 代表 堀江 洋生	高校生(今後、起業を考えている方や起業で地域を活性化したい方)
88	研究推進部 jm3911@hirosaki-u.ac.jp	弘前大学令和6年度第3回スタートアップサロン	1回	令和6年11月18日、25日	弘前大学総合教育棟3階306号室	国立大学法人弘前大学 研究・イノベーション推進機構 【共催】 公益財団法人21あおり産業総合支援センター 【後援】 あおり創生パートナーズ株式会社	スタートアップ創出のための起業活動支援プログラムの一環として、企業における新事業や新サービスのアイデア創出の仕組みを学び、実践することで、起業家教育の醸成並びに教員・学生等が起業を目指す動機付けとすることを目的としたプログラム。	本田技研工業株式会社 知的財産・法務統括部 仲山 修司	弘前大学教職員・学生、青森県内の大学/高専の教職員・学生、ひろさき産学官連携フォーラム会員、イノベーションネットワークあおりメンバー、MASP参画大学の教職員・学生
89	研究推進部 jm3911@hirosaki-u.ac.jp	令和6年度弘前大学知財塾	1回	令和6年12月3日	弘前大学(オンライン)	【主催】 国立大学法人弘前大学 研究・イノベーション推進機構 【共催】 国立大学法人弘前大学 健康未来イノベーション研究機構 ひろさき産学官連携フォーラム 大学コンソーシアム学都ひろさき	知財に対するリテラシー向上、研究活動における知財への意識啓もうを目的として「スタートアップと知財活動」をテーマに開催。	坂本国際特許商標事務所 所長 井理士 坂本智弘	弘前大学教職員、大学生、大学院生、ひろさき産学官連携フォーラム会員、大学コンソーシアム学都ひろさき加盟大学の教職員・学生
90	研究推進部 jm3911@hirosaki-u.ac.jp	第3回弘前大学先輩起業家交流会及び個別起業相談会	1回	令和7年2月6日	弘前大学文京キャンパスオープンイノベーションラザ(ハイブリッド)	【主催】 国立大学法人弘前大学 研究・イノベーション推進機構 【共催】 公益財団法人21あおり産業総合支援センター 八戸工業高等専門学校 【後援】 あおり創生パートナーズ株式会社 ひろさき産学官連携フォーラム	スタートアップ創出のための起業活動支援プログラムの一環として、弘前市出身の先輩起業家を招き、スタートアップを志した経緯や苦労した点、良かった点などについて講演頂くとともに、交流を図ることを目的として開催。交流会前には希望者による個別起業相談会も開催する。	株式会社天地人 代表取締役 榎庭 康人	弘前大学教職員・学生、青森県内の大学/高専の教職員・学生、起業に関心のある方、ひろさき産学官連携フォーラム会員、イノベーションネットワークあおりメンバー、MASP参画大学の教職員・学生
91	研究推進部 jm3911@hirosaki-u.ac.jp	弘前大学令和6年度第4回スタートアップサロン	1回	令和7年2月7日	弘前大学創立50周年記念会館みちのくホール(ハイブリッド)	【主催】 国立大学法人弘前大学 研究・イノベーション推進機構 【共催】 公益財団法人21あおり産業総合支援センター 【後援】 あおり創生パートナーズ株式会社	スタートアップ創出のための起業活動支援プログラムの一環として、企業におけるアントレプレナーシップ(起業家精神)の必要性・重要性について紹介していただくことにより、起業家教育の醸成並びに教員・学生等が企業を目指す動機付けとすることも目的としたプログラム。	株式会社ソフトクリエイティブホールディングス 上席執行役員 吉川 智雄	弘前大学教職員・学生、青森県内の大学/高専の教職員・学生、ひろさき産学官連携フォーラム会員、イノベーションネットワークあおりメンバー、MASP参画大学の教職員・学生

令和6年度 公開講座・講演会等の実施状況

(令和6年4月～令和7年3月実施分)

NO	部局名	事業名	延べ開催回数 (日数)	開催日	場所	主催・共催・後援など	事業内容(概要)	講師	対象者
92	健康未来イノベーション研究機構 coi@hirosaki-u.ac.jp	弘前大学COI-NEXT Well-being イノベーションフォーラム2024 (WEB併用)	1回	令和6年9月20日	東京都・一橋講堂	【主催】 弘前大学 青森県 弘前市 【後援】 文部科学省 (国研) 科学技術振興機構 (JST)	新たに健康を基軸とした「経済発展モデル」と「全世代アプローチ」でWell-beingな地域共創社会の実現をめざす。これまでのCOIでの活動成果を基盤にしつつ健康(QOL)の本質的課題解決へ向けてさらに力強く挑戦する。STI for SDGsの理念のもと、地域から世界の健康づくり(SDGs)への貢献をめざす。新たな健康未来イノベーション戦略の全体像を披露するとともに、未来の地域社会モデル、ヘルスケア産業創出戦略等について第一線の産学官金民関係者が一大集結し、熱く議論する。	弘前大学長 福田 眞作 青森県知事 宮下 宗一郎 弘前市長 櫻田 宏 文部科学省 科学技術政策局長 井上 諭一 COI-NEXT 共創分野・地域共創分野第1領域プログラムオフィサー 澤谷 由里子 弘前大学 COI-NEXT拠点長(PL)/弘前大学 学長特別補佐/健康未来イノベーション研究機構長・教授 村下 公一 他	一般市民・学生・大学・企業・研究機関等
93	健康未来イノベーション研究機構 coi@hirosaki-u.ac.jp	弘前大学COI-NEXT Well-being イノベーションサミット2025 (WEB併用)	1回	令7年2月7日	アートホテル弘前シティプレミアホール	【主催】 弘前大 青森県 弘前市 【共催】 青森県医師会 健やか力推進センター ひろさき産学連携フォーラム 【後援】 文部科学省 (国研) 科学技術振興機構 (JST)	健康を基軸とした「経済発展モデル」と「全世代アプローチ」でwell-beingな地域共創社会の実現をめざす。これまでのCOI活動成果を基盤に、健康(QOL)の本質的課題解決へ向けてさらに力強く挑戦し、STI for SDGsの理念のもと、地域から世界の健康づくり(SDGs)への貢献をめざす。新健康未来イノベーション戦略の実現に向け、未来の地域社会モデル、ヘルスケア産業創出等について第一線の産学官金民関係者が一大集結し、熱く議論する。	弘前大学長 福田 眞作 青森県知事 宮下 宗一郎 弘前市長 櫻田 宏 文部科学省 科学技術・学術政策局長 先崎 卓歩 内閣官房政策参与(グローバル・スタートアップ) 前 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 長 松尾 泰樹 COI-NEXT 共創分野・地域共創分野 第1領域副プログラムオフィサー 吉田 輝彦 弘前大学COI-NEXT拠点長(PL)/弘前大学 学長特別補佐/健康未来イノベーション研究機構長・教授 村下公一 他	一般市民・学生・大学・企業・研究機関等
94	イングリッシュラウンジ(学務部) jm3105@hirosaki-u.ac.jp	数理・データサイエンス教育センター公開講座 データサイエンスサマースクール2024 ～AIと仲良く遊ぶ～	1回	令和6年8月3日	弘前大学総合教育棟305講義室	【主催】 弘前大学教育推進機構数理・データサイエンス教育センター	AIの基礎知識から応用について、実際に生成AIツールを使用し、AIの可能性と魅力についての学びの場を提供することを目的とする。	数理・データサイエンス教育センター センター長 守 真太郎 教育推進機構 助教 徐 昺哲 教育推進機構 助教 増本 広和	高校生、中学校、高校の数学・情報担当教員及びデータサイエンス・AIに興味のある一般市民
95	イングリッシュラウンジ(学務部) jm3105@hirosaki-u.ac.jp	高大連携事業 イングリッシュ・ラウンジ オンラインセミナー オープニングイベント	2回	令和6年4月19日 令和6年10月4日	オンライン	【主催】 教養教育開発実践センター	令和3年度から引き続き、県内高等学校の協定校の一部に公開予定のイングリッシュ・ラウンジのセミナーを高校生に親しみやすく参加してもらうために開いたオープニングイベントである。令和4年度前期のセミナーの一部、"Easy Conversation Practice/留学生と一緒に簡単な会話練習"の模擬授業をライブ・ヤグノ助教が中心となり、留学生とともにZoomで配信を行った。	教育推進機構 講師 ソロモン・ジョシュア 助教 ヤグノ・ライク	青森高校、青森南高校、八戸高校、弘前南高校の生徒
96	イングリッシュラウンジ(学務部) jm3105@hirosaki-u.ac.jp	弘前大学イングリッシュ・ラウンジ・セミナー(前期)	56回	令和6年4月23日～7月26日の 火曜～金曜 16:00～17:30	オンライン	【主催】 教養教育開発実践センター	English Loungeで提供するセミナー、火曜日Communication in Global English、水曜日Practical Translation Skills、木曜日English Communication、金曜日Studying and Living AbroadをZoomにより公開した。	教育推進機構 准教授 バードセル・ブライアン 講師 ソロモン・ジョシュア 助教 ヤグノ・ライク	青森高校、青森南高校、八戸高校の生徒
97	イングリッシュラウンジ(学務部) jm3105@hirosaki-u.ac.jp	高校生のための弘前大学イングリッシュ・ラウンジ 英語スキル獲得ワークショップ	1回	令6年5月18日	オンライン	【主催】 教養教育開発実践センター	高校生が英語リスニング能力を活かしながら、大学生に必要なノートテイキング技能を演習形式で学び、それをもとに短い討論を行う。外国文化についての講義を聞きながらノートテイキングの方法を実践的に学習する事前オンデマンド学習と、オンライン同時双方向学習において予習で取ったメモを踏まえてグループで協力しながら議論を準備し、Micro debateを行う。	教育推進機構 講師 ソロモン・ジョシュア 助教 ヤグノ・ライク 助教 片桐 早苗	青森高校、青森南高校、八戸高校の生徒
98	イングリッシュラウンジ(学務部) jm3105@hirosaki-u.ac.jp	小中学生のための英語教室 弘大の多国籍教員と	1回	令和6年8月17日	オンライン	【主催】 教養教育開発実践センター	英語を使って楽しく活動しながら、主体的に英語を話すことを体験しよう。小学生(午前の部):自分の身近な本、ものを英語で紹介できるように練習しよう。中学生(午後の部):英語でのインタビュー方法を練習し、外国出身の人と交流することにより、外国文化について学ぼう。	教育推進機構 講師 ソロモン・ジョシュア 助教 ヤグノ・ライク 助教 片桐 早苗	全国の小中学生
99	イングリッシュラウンジ(学務部) jm3105@hirosaki-u.ac.jp	第5回 弘前大学イングリッシュ・ラウンジ～市民のための英語講座	2回	令和6年11月22日 令和6年12月6日	総合教育棟2階 イングリッシュ・ラウンジ セミナー室	【主催】 教養教育開発実践センター	英語を使いながらアメリカとドイツの買い物文化について学び、自分の身近な文化について振り返る、インタラクティブな講座です。英語レベルによって適切な教材を使い、読む・話す指導を行いますので、初心者の方でも歓迎です。どちらかのみ参加も可能です。	教育推進機構 講師 ソロモン・ジョシュア 助教 ヤグノ・ライク 助教 片桐 早苗	英語や海外文化について興味のある方
100	イングリッシュラウンジ(学務部) jm3105@hirosaki-u.ac.jp	弘前大学イングリッシュ・ラウンジ・セミナー(後期)	56回	令和6年10月8日～1月31日の 火曜日～金曜日 16:00～17:30	オンライン	【主催】 教養教育開発実践センター	English Loungeで提供するセミナー、火曜日Learning English with News、水曜日Writing Tutor、木曜日Understanding Research in the Social Science、金曜日Europe Pop CultureをZoomにより公開した。	教育推進機構 准教授 バードセル・ブライアン 講師 ソロモン・ジョシュア 助教 ヤグノ・ライク	青森高校、青森南高校、八戸高校の生徒
101	男女共同参画推進室 jm3888@hirosaki-u.ac.jp	男女共同参画トップセミナー	1回	令和6年12月17日	創立50周年記念会館岩木ホール、オンライン(Zoom)	【主催】 男女共同参画推進室	「基礎から学ぶ 性の多様性と大学の対応～バイオニア・国際基督教大学での実践を素材として～」	ファーマント代表、国際基督教大学ジェンダー研究センター顧問、国際基督教大学ジェンダー研究センター創立者、元・国際基督教大学教授 田中 かず子	弘前大学、北東北ダイバーシティ研究環境推進コミッティ、北東北国立3大学連携推進会議連携協議会、あおもりダイバーシティ研究環境推進ネットワーク、テーマに興味のある他大学や市民

令和6年度 公開講座・講演会等の実施状況

(令和6年4月～令和7年3月実施分)

NO	部局名	事業名	延べ開催回数 (日数)	開催日	場所	主催・共催・後援など	事業内容(概要)	講師	対象者
102	ボランティアセンター huvvc@hirosaki-u.ac.jp	令和6年度第1回研究体験事業	1回	令和6年8月24日	弘前大学文京キャンパス	【主催】 弘前大学地域創生本部ボランティアセンター	学生ボランティアの引率のもと大学の研究体験を実施するとともに、学生ボランティアと児童が共に昼食をとり交流を行うことで、普段感じることのない大学の雰囲気に触れることや最先端の研究室の様子を知り、勉学への意欲や知的好奇心を高めることを目的に当該事業を実施する。	①弘前大学農学生命科学部 准教授 森井 悠太 ②弘前大学人文社会科学部 教授 上條 信彦	小学生
103	ボランティアセンター huvvc@hirosaki-u.ac.jp	令和6年度第1回市民ボランティア講座	1回	令和6年10月9日	弘前大学人文社会科学部4階多目的ホール	【共催】 一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと 弘前大学地域創生本部ボランティアセンター GECM.net	NPO法人「Matsudo子どもの未来へwith us」の代表理事である高橋 亮氏をお招きし、地域内のすべての小学校区に子どもの居場所を作るための支援活動について伺う。また、活動を通じて学んだ、近年増加している生活困窮をはじめとする様々な問題を抱える家庭の実情や、そうした家庭が地域社会から孤立することで困難が増すという状況についても触れる。	NPO法人Matsudo子どもの未来へwith us 代表理事 高橋 亮 NPO法人Matsudo子どもの未来へwith us理事 有馬 房江	市民
104	ボランティアセンター huvvc@hirosaki-u.ac.jp	令和6年度第2回市民ボランティア講座	1回	令和6年11月24日	弘前大学大会館3階大集会室	【主催】 弘前大学地域創生本部ボランティアセンター	ジェンダー視点を取り入れた避難所運営訓練を通して、次のことについて理解を深める。 (1) 参加者が「人権や命の大切さ」、「考える力」、「判断し行動する力」、「生きぬく力」を身につける。 (2) 地域に住む若者が防災教育に取り組むことで、地域防災力の向上につなげると共に地域への関心や愛着心が生まれ、地域コミュニティの形成につなげる。 (3) 性別にとらわれず、一人ひとりが能力を発揮でき、認め合うことの必要性に気づく。 (4) 災害時、誰もが取り残されない避難所について理解する。	一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと代表理事 小山内 世喜子	市民
105	ボランティアセンター huvvc@hirosaki-u.ac.jp	令和6年度弘前大学地域創生本部ボランティアセンター活動報告会	1回	令和7年1月23日	弘前大学大会館3階大集会室	【主催】 弘前大学地域創生本部ボランティアセンター	令和6年に地震や豪雨による被害に見舞われた能登半島において支援活動を行っている福和山公立大学の大門氏から、被害状況や現状、被災地のニーズについてご報告をいただき、当センターの今年度の活動を振り返りながら今後に向けた課題および方策について意見交換を行い、来年度以降のセンター運営を検討する。同時に、弘前市民のボランティア活動への理解を深め、ボランティア活動参加を推進していくことを目指す。	福和山公立大学 地域経営学部 准教授 大門 大朗	市民
106	ボランティアセンター huvvc@hirosaki-u.ac.jp	令和6年度第2回研究体験事業	1回	令和7年2月15日	弘前大学本町キャンパス	【主催】 弘前大学地域創生本部ボランティアセンター	学生ボランティアの引率のもと大学の研究体験を実施するとともに、学生ボランティアと児童が共に昼食をとり交流を行うことで、普段感じることのない大学の雰囲気に触れることや最先端の研究室の様子を知り、勉学への意欲や知的好奇心を高めることを目的に当該事業を実施する。	①弘前大学男女共同参画推進室 助教 山下 梓 ②弘前大学保健学研究科 助教 太田 一輝	小学生
107	むつサテライトキャンパス jm3904@hirosaki-u.ac.jp	むつサテライトキャンパス公開講座「食育健康講座」	4回	①令和6年8月9日 ②令和6年8月23日 ③令和6年9月27日 ④令和6年10月18日	①むつ来さまい館Bホール ②下北文化会館大集会室 ③海老川コミュニティセンター集会所 ④むつ来さまい館Bホール	【主催】 むつサテライトキャンパス運営委員会	①「夏野菜の代表ゴーヤとズッキーニで暑い夏を乗り切ろう」 ②「青森県のカシス生産量はわが国で一番です！強力な抗酸化作用で美容と健康を維持しましょう！」 ③「酸化ストレスと血圧に対するナスの機能成分の効果！」 ④「豊富なβカロテン、ビタミンEで老化防止を！粘膜や皮膚を強化して厳しい冬に備えよう！」	①弘前大学農学生命科学部 准教授 前多 隼人 料理研究家 坂本 謙二 ②弘前大学 名誉教授 加藤 陽治 料理研究家 坂本 謙二 ③弘前大学農学生命科学部 准教授 前多 隼人 料理研究家 坂本 謙	むつ市民及び周辺市町村民
108	むつサテライトキャンパス jm3904@hirosaki-u.ac.jp	むつサテライトキャンパス公開講座「ジオパーク講座」	2回	①令和6年7月28日 ②令和6年9月22日	①下北地域 ②下北地域	【主催】 むつサテライトキャンパス運営委員会	①川内川溪谷自然観察会 ②令和4年9月に放送されたプラタモリのロケ地をバスで巡る。	①弘前大学農学生命科学部 教授 中村 剛之 ②弘前大学理工学研究科 講師 根本 直樹	むつ市民及び周辺市町村民
109	大学コンソーシアム学都ひろさき conso@hirosaki-u.ac.jp	5大学合同シンポジウム	1回	令和6年12月22日	土手町コミュニケーションプラザ	【主催】 大学コンソーシアム学都ひろさき 【共催】 弘前市	「今後の地震防災」	弘前大学大学院地域共創科学研究科長 片岡俊一	学生、市民、大学関係者、行政関係者等